

たいよう

第 141 号 令和 2 年 5 月発行
独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院附属介護老人保健施設
〒651-1145
神戸市北区惣山町 2-1-9
TEL 078-595-2323
FAX 078-595-2717



施設長就任ご挨拶



施設長 松本圭吾

皆様 こんにちは。本年 4 月 1 日に施設長に就任しました松本圭吾です。私は昭和 61 年に京都の医大を卒業し、長らく脳神経外科の医師をしてまいりました。隣の神戸中央病院には約 20 年前に赴任し、ここ数年間は副院長として「地域包括ケア」も担当しており、当介護老人保健施設のスタッフとも連携してまいりました。「地域包括ケア」とは一言でいうと、「高齢になり要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるような医療と介護のシステムづくり」のことを言います。病院が平成 26 年に「全国社会保険協会連合会（全社連）」から（独）地域医療機能推進機構に移管されましたが、その機構の旗印が「地域包括ケアを支える」とあります。当施設は「ヴィバ・サン神戸」として、神戸中央病院に隣接して開設されましたが、病院が機構に移管されるに伴い附属の施設となりました。これにより病院とさらに密に連携することになり、まさに機構の目標の「地域包括ケア」を支える施設として機能しております。

当施設は、日々、住み慣れた地域社会の中での生活が維持できるよう早期の在宅復帰に向け支援すると共に、リハビリテーション、レクリエーション等、充実した医療ケアと日常生活サービスを提供してまいりました。入所者やご家族からは、急性期医療を担う神戸中央病院との円滑な連携により、急病診療応需体制も整備され、万一に備えた緊急時の受診も可能であり、より安心感があると定評を頂いております。

皆様の生活機能の維持向上を図り、早期の在宅復帰を目指し、施設内での看取りケアにも幅を広げ、安全で温もりのあるケアの提供に努めると共に、人と人のふれあい、地域とのふれあいを大切に、真摯で愛情のあるサービスに取り組んでまいりたいと考えています。

これからも職員一同、入所サービス、デイケアの利用者様にとって、より良いサービスをご提供できるよう、尽力してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。



手紙

今回、コロナ禍による影響で、利用者様・ご家族様へ面会禁止やデイケア、ショートステイなど自粛をさせていただいている方へ、少しでも元気を届けたいと職員からメッセージを募集しました。

コロナ収束まで一人でも多くのメッセージを掲載したいと思います。

先日、2人の利用者様から「手を握ってほしいの」と言われました。2人は別々のお部屋で交流のない方です。この状況で家族と会えない日々が続いて不安になったり心配になったり心細いんだと感じました。

「リハビリを頑張る」「今は自分の出来る事をやっている」といった前向きな声も聞かれますが、感染拡大防止と同時に心のケアの大切さを痛感しています。ご家族の変わりにはなりません、お声かけしお話を聞いて寄り添っていきたくと思います。

介護福祉士：原口美香子

お庭に咲くお花は今年もいつものように私達の心を和ませてくれています。お花に負けないように、私達もコロナに負けずご利用者の心を和ませることや笑顔にできるよう頑張りたいです。

介護福祉士：立花恵

4月に入職しました。理学療法士の田中です。利用者の方々に積極的に声をかけて、元気にリハビリを頑張らせていただけるよう取り組んでいきます。一緒にがんばりましょう。

理学療法士：田中秀和

皆様いかがお過ごしですか？

様々な情報があふれ、外出制限や面会制限もありストレスフルになっていませんか？こんな時こそしっかり食べてたくさん笑ってたっぷり眠って一日も早くまた笑顔で会える日を楽しみにしています。

看護師：井上阿貴子

家族様から利用者様へのメッセージを代わりに伝えると、どちらもとても喜んでいただき、家族の絆や愛情を改めて感じることも多く、もらい泣きしてしまうこともあります。利用者様の普段見られない表情が見られることがあります。

管理栄養士：岸野三枝子

感染拡大防止に向けて自分ができる事は何かを考えてみました。未知のウイルスをただ恐れるのではなく、きちんと理解して正しい情報で正しい行動をこんな時こそデマや不確実な情報に惑わされない事が大切だと思います。

介護福祉士：谷口優美子

手指衛生を徹底し、明るく！元気に！をモットーに携われて頂きます。

作業療法士：西澤萌

みなさんの早いコロナが早くおさまり笑顔が戻れますように
療養介助員：福井亜季子

利用者様に『三蜜』の話をして
いると「僕はハチミツとあんみつ
の方がいい」と返ってきて皆と笑
い合いました。「コロナ対策」で
しんどい事を伝えると「私らは戦
争も貧乏も経験」してきたいろん
な事あったわ～辛抱に慣れてる。
人間は強くできてるから大丈夫
や（職員は）よく頑張ってくれて
はる。ありがとう」と言われまし
た「辛抱が足らん」と反省し励ま
されました。

介護福祉士：中田裕子

コロナウイルス感染拡大防止
のためにデイ利用を自粛されて
いる利用者の皆に会えず寂しい
です。手洗いや消毒をこまめに
行い、発熱の有無に関わらず体
調の変化がないか毎日注意する
ことが大切かと思えます。早く
元の日常生活に戻れ、また皆様
の元気な顔がみれますように

介護福祉士：細野真理

感染防止の為、こまめな手洗い（1人
の方の1つの作業が終わる度に）行って
ます。寝不足も対敵！体調を整える為に
しっかり食べしっかり寝ます。しっかり
食べる延長で下腹が出てきて狭い隙間に
入る時に邪魔になる…とグチってまし
たら、利用者様にそれも眉が下がる程大声
で笑われました（笑）

看護師：大山まゆみ

施設が面会禁止になり、夫から妻へ、
息子から母へ、娘から母へとお手紙を
洗濯物の替えの準備と合わせて持参さ
れる方が見受けられるようになりました。
手紙のひとつひとつの文字に温か
みを感じ、それを受け取られ「恥ずか
しいな～」と言いながら利用者様の何
とも言えない笑顔が見ている私も心が
ほころびました。

デイケアを自粛されている方、お元
気ですか？安心して参加していただ
ける日を待ち望んでお待ちしております。
手書きのお手紙とはいきませんが、元
気でお会いできる日を楽しみにしてい
ます。

支援相談員：坂根朋子

異動

【新入職員】

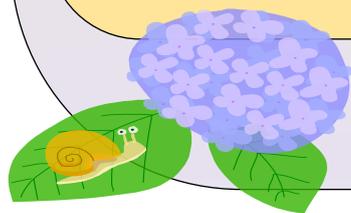
田中 篤（看護師）
土屋 佳美（介護福祉士）
田中 秀和（理学療法士）

【退職職員】

皆様いかがお過ごしでしょうか？
コロナの影響でご利用者やご家族
の皆様にご挨拶できずに退職した
ことが心残りでした。在宅復帰や
在宅介護支援に取り組めた事は私
の宝です。JCHOでの学びを糧に
に私も頑張ります。皆様のご健康
とご健勝を心よりお祈りします。
森上 紀子（理学療法士）

【退職職員】

16年間お世話になりました。
ここでの経験を生かして
これからも頑張ってい
きたいと思えます。ありが
とうございました。
石庭 美佳（介護福祉士）



★納豆の落とし揚げ(4人分)



<材料>

納豆 … 100g (約2パック)
冷凍グリーンピース … 100g
卵 … 1/2個
小麦粉 … 40g (大さじ3)
サラダ油 … 適量
赤パプリカ … 120g (1個)
練り辛子 … 少々
醤油 … 適量

<作り方>

- ①グリーンピースはボイルしておく。
- ②ボールに卵、小麦粉を入れ混ぜる。
- ③②に納豆を入れ混ぜ合わせる。
- ④赤パプリカは食べやすい大きさにきり、サラダ油で炒める。
- ⑤③を適当な大きさにまとめ、180℃の油で揚げる。
- ⑥④を添え、器に盛る。

★納豆菌によって大豆の硬い組織が消化しやすくなるため、消化率が高いです。また、納豆菌は腸内で有害細菌の繁殖を防ぐ働きをし、ねばねばに含まれるナットウキナーゼは強力な血栓溶解作用があるため、血栓の発症予防、心筋梗塞や脳梗塞等の予防に役立ちます。

栄養成分は、骨形成を助けるビタミンB2、ビタミンKが豊富です。大豆に含まれる蛋白質は、免疫細胞の働きを活性化します。また、善玉菌が腸内を活発にして免疫力を高めてくれます。

免疫力をUPさせ、コロナウイルスに負けない体を作りましょう！！

お知らせ

理美容 (散髪¥2000・顔剃り¥1500)

6月/1(月) 2(火) 3(水)

4(木) (火) 13

7月/1(水) 2(木) 3(金)

6(月) 7(火)

*申し込み締切日：前月の25日まで

ふれあい喫茶・売店・行事

(コロナウイルス感染拡大防止の為、当面の間中止します)



編集後記

長期の自粛生活はストレスが溜まりますよね。皆様はどのように過ごされているでしょうか。

私は辛い自粛生活を少しでも楽しめるように美味しい料理を準備して食べたり、好きな歌を聞いたり、自宅で出来る運動をしたりして過ごしています。あと娘達と過ごす時間が増えたので自宅でおままごとをしたり、トランポリンを飛んだり、クッキー作りをしたりと自粛生活を楽しみへと繋がるように考え行動しています。

感染への恐怖、自粛生活の疲れと今までにないストレスのかかった生活を楽しむのは難しいですが、明るい明日を想像し前向きに一緒に頑張りましょう。(藤原)